

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二二（令和四）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 B日程〉

国語

二〇二二（令和四）年二月三日（木）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(小林武彦『生物はなぜ死ぬのか』より)

問一 次の一文は、本文中の《A》～《E》のうちいずれかの箇所に入ります。どこに入るのがふさわしいか、一箇所選んで記号で答えなさい。
ヒトのために作ったはずのAIに、ヒトが従属してしまうのです。

問二 I ～ III を補うのにふさわしい語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ 例えば ウ だから エ なぜなら オ さて

問三 () を補うのにふさわしい語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 臨機応変 イ 一生懸命 ウ 試行錯誤 エ 威風堂々 オ 東奔西走

問四 〰〰〰部「エイリアン」について、なぜこのような言葉でAIを表現しているのですか。その説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分たちがおもはや理解できないという点で、AIは排除すべき存在であるという主張を際立たせるため。
- イ 人間よりも多くの知識を溜め込み、いつも合理的な答えを出してくれるAIに対する尊敬の念を表すため。
- ウ AIが人間を支配し始めたように、地球もいずれ地球外生命体に支配されてしまう危険性があることを示すため。
- エ AIは人間が作り出したものであるにも関わらず、人間の理解を越えた存在になりつつあることを警告するため。
- オ 自分たちの寿命や能力を超えるAIを生み出した人間が、AIよりも優れた存在であることを強調するため。

問五 次の文は、AIと人間の違いについてまとめたものです。□に当てはまる内容を、本文中の語句を用いて具体的に書きなさい。

死なないAIは世代を超えて進歩するのに対し、死んでしまう人間は□

□ことで変化する。

問六 次のやりとりは、AIについての生徒同士の会話です。筆者の考え方と近いのはどの生徒ですか。次の中から一人選び、ア～オの記号で答えなさい。

ア 生徒A——AIって本当に便利だね。私たちの暮らしが格別に快適になっているし、生活のあらゆる面で最優先に取り入れて、どんどん活用したいね。

イ 生徒B——AIがいくら優秀でも、人間の知恵の蓄積にはかなわないでしょう。改良されていったとしても、毎回何らかの不具合は見つかるわけだし。

ウ 生徒C——AIを作ったのは人間なのだから、主導権を握るのはこれからも人間に決まっているよ。AIは未知のものには対応できないんだから。

エ 生徒D——そうかな？ AIの方が常にデータに基づいた賢明な判断をしてくれるよ。もちろん、AIを生み出した人間の価値観にしっかり合わせたうえで。

オ 生徒E——私は失敗しながらでも成長できる方がいいな。AIについて考えていると、人間って何なのかな、なんて考えこんでしまうことがあるよ。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

離島・大島にある渚台^{なきさだい}高等学校陸上部は、人数不足に悩んでいたが、転校生の「脊尾^{せお}」が入部したことで四人の男子部員がそろい、4×100メートルリレーに挑むことになった。次の文章は、都大会予選でなんとか決勝に残ったその夜、第四走者の「俺」(朝月渡^{あさつきわた})が予選のビデオを見て、第三走者の「脊尾」と話している場面である。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(天沢夏月『ヨンケイ!!』より)

問一 部①「機先を制する」、部②「気概」の本文中の意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①「機先を制する」

- ア 相手の行動を後から批判し、妨害する
イ 相手より前に事を始め、自分を有利に導く
ウ 相手の言い分を論破し、自分の正しさを証明する
エ 相手から遅れを取らないよう、必死についてゆく

②「気概」

- ア 困難に負けない強い気持ち
イ その場の状況で変わる気分
ウ 柔軟で豊かな発想や思いつき
エ 決して消えることのない野心

問二 部①「なんでブレーキ踏もうとしたんだよ」について、その理由を「俺」の立場から説明したものと最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア スタート時に全力疾走してしまったことを後悔し、ペース配分を計算して最後まで確実に走り抜こうと考えたから。
イ 攻め気味に走り出したことで脊尾との距離が開きすぎてしまい、脊尾の実力では自分に追いつけないと考えたから。
ウ タイムには余裕があったこともあり、翌日の決勝で必ず勝つことを考えて余力を残しておきたいと考えたから。
エ 関東大会まで勝ち進むことだけを考え、バトンパスにのみ集中した結果、思うように加速できなかったから。
オ 高校最後の大会をバトンミスで終わらせるよりも、ミスをせず無事に走り終えることを優先させたかったから。

問三 —— 部(2)「自分のつま先に向かって、吐き捨てるようにつぶやく」について、「俺」はなぜこのような話し方をしてしまったのかと考えられますか。その理由の説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 勝ちたいと思ってはいるものの、自分の実力が信じられないから。
- イ 本番になってやっと本気を出すような脊尾を、軽蔑しているから。
- ウ 信頼関係を築けていた脊尾と正面から対立し、戸惑っているから。
- エ 決勝に残ったのは偶然に過ぎず、良い結果は期待していないから。
- オ 自分の後ろ向きな考えが、脊尾とは合わないとわかっているから。

問四 「俺」が「脊尾」の言動に影響され、次第に変化しつつあることが読み取れる一文を本文中から探し、最初の五字を書きなさい。ただし、探す範囲は22行目から40行目の間とします。なお、句読点や記号があればそれも一字とし、以下の問いでも同様とします。

問五 —— 部(3)「脊尾ががしがしと頭をかきながら言った」について、ここからは「脊尾」のどのような気持ちを読み取れますか。四十字以上五十字以内で説明しなさい。

問六 —— 部(4)「最初からこんな目してたっけな？こいつ……」について、この時の「俺」の心境を表した語として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 敬意
- イ 反感
- ウ 発見
- エ 失望
- オ 安心

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

蝉せみはただ五月晴はるに聞きそめたるほどがよきなり。やや日ひざかりに啼なきさかる頃は、人の汗しぼる心地す。されば初はつ蝶てふとも初はつ蛙かはうともいふ事をきかず。此物このものばかり初はつ蝉せみといはるこそ大きな手から I。 「やがて死ぬけしきは見えぬ」と、此物このもののうへは、翁おきなの一句に尽きたりといふべし。日ぐらしは多きもやかましからず。暑あつさは昼ひるの梢こすねに過ぎて、夕ゆふべは草くさに露つゆ置おくころならん。つくつくほうしという蝉せみは、 II ともいふなり。筑紫ちくし人の旅たびに死しして此物このものに成なりたりと、世よの諺ことわざにいへりけり。

(横井也有『鶉衣』より)

※ 日ひざかり……暑あつさのきびしい頃。

※ やがて死ぬけしきは見えぬ…… 「やがて死ぬけしきは見えぬ蝉せみの声」という俳句の一部。

※ 翁……ここでは、俳人・松尾芭蕉のこと。

※ 筑紫……現在の福岡県の古称。

問一 〰〰〰部「五月」の読み方を、ひらがなで書きなさい。

問二 I を補うのにふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア なら イ なり ウ なる エ なれ

問三 II には、「つくつくほうし」の別名が入ります。前後の表現を参考にしながら、補うのにふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア つくし広し イ つくし恋し ウ 琵琶びわほうし エ 山ほうし

問四 この文章の内容に合っている説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 蝉の鳴き声は夏の風物詩なので、夏の盛りに聞くことが最も喜ばしい。
- イ 蝉が蝶や蛙と同じように「初〇〇」と呼ばれるのは、誇らしいことだ。
- ウ 蝉はその生命の短さのためか、俳句の素材として採用された例はない。
- エ 日ぐらしという蝉は、数が多くいてもうるさくは感じないものである。

四

①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|---|------------|---|-----------|
| ① | ヘイオンな暮らし。 | ⑥ | 緊密に連絡を取る。 |
| ② | キミヨウな出来事。 | ⑦ | 慎重に判断をする。 |
| ③ | 幕府をタオす。 | ⑧ | むやみに抵抗する。 |
| ④ | ケイタイ電話を使う。 | ⑨ | 夜ふかしを戒める。 |
| ⑤ | 桜が散るのをオしむ。 | ⑩ | 寒さが緩む。 |

